

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 12 月 12 日 (水) No.42

発行人

早くアルコールが呑みたい。ごめんなさい不謹慎で。の川崎先生。

◇12月12日(水) ふっか～つく(´^`)◇ “ただいま～” ◇

入院7日間、自宅療養2日間、合計9日間休みをいただきありがとうございました。この間、様々な場面で、多くの皆様にご心配をいただき誠にありがとうございました。何とか無事に戻ってくることが出来ました。

実は手術は4時間を要しました。たかが親知らずに4時間(@_@;)。はい、自分もそう思います。術後に主治医の先生から話を聞いて(@_@;)となりました。主な理由は二つあります。①左下の親知らずが顎の骨に固着しており、これを神経に触れずに切断して抜くのに時間がかかった。まあこれは想定内。②左上の親知らずの根の部分に穴があり、これがあつたために歯を抜いたら鼻腔とつながってしまい、その処置に時間がかかった(@_@;)。これは“えーっ!!”でしょ。術後に主治医から、“大丈夫ですか？鼻に抜ける感じはしませんか？”と聞かれたのが腑に落ちました。そりゃ、つながってたら嫌ですよ。ラーメン食べると鼻から出てくるとか？いろいろ想像しただけで“うわぁ～”となります。

手術次の日からは見事に両頬が腫れあがりました。ガキデカのようでちょっと笑えます(知ってる人少ないか～)。まあ、自分で笑うと痛いのですが・・・。

食事はおかゆと何か得体のしれないドロドロしたおかず(食べて初めて“あっ〇〇かぁ～”とわかる)ばかりでした。これが退院まで続きました。でも、それすら食べることがままならず(切開痕が痛いのです)、毎日ウィダーとヨーグルトの日々でした(これすらも痛いのです)。実はこれは退院した今も続いています。食の楽しみは一切ありません。今だに、喋ること、食べること、飲むことは痛みが出ます。また何らかの外的な刺激(頬に触れる、早く歩く、重いものを持つ等)でも痛いのです。夜、寝返りを打った瞬間に痛みで飛び起きたことも何度もあります。往復ビンタとかされたら多分気を失います。

ああ、もうしばらくは不自由な生活が続きます。その間、まだまだ皆様にはご迷惑をおかけしますが、なにとぞご容赦ください。

今回メールやラインのありがたさが身に沁みました。喋らなくても想いが伝わるのですから。またベッドの上でやることなく、Facebookはやたら更新するは、時事に詳しくなるは、普段あまりしないことが出来たことは、まあ良い点としておきましょう。

◇何とも幸せな朝 12月12日(水) ◇

久しぶりの出迎えた。雨の中やや緊張して校門へ向かう。すでに登校している子どもたちに手を振りながらあいさつする。久しぶり～な面持ちで笑顔で手を振り返してくれる。この瞬間に緊張が解ける。

校門に立つ。「大丈夫ですか?」「おかえりなさい」「お疲れ様でした」「おめでとうございます」。たくさん言葉をもらう。中にはそっと近づいて手と手を合わせる子や、そっと抱きしめてくれる子も。みんなみんな笑顔をくれる。あのお～、めちゃくちゃ幸せを感じるんですけど。集会でも、上手く喋れない川崎をあたたく見つめる優しい目。あのお～、とってもほんわかするんですけど。あ～、西小ってなんて素敵なんだろう。大好きです。

・・・・・・こんな子どもたちとまた過ごせることがなによりもうれしい\(^o^)/・・・・・・